

平成 27 年度事業報告書

(平成 26 年 10 月 1 日~平成 27 年 9 月 30 日)

公益財団法人キワニス日本財団

I 法人の状況に関する重要な事項

1. 実施事業

(1) 国内公益的事業助成（公①事業）

○各地のキワニスクラブが行う次の8事業に対し総計1,650,000円の助成をした。その財源は国際キワニス財団（KIF）が日本に保有する口座からKIF理事会の承認を得て支出された助成金である。

- ① 東京クラブのキワニス・ドール・シンポジウムの開催（150,000円）
- ② 東京クラブの青少年社会奉仕団体の交流推進事業（300,000円）
- ③ 横浜クラブのマタニティーコンサート（300,000円）
- ④ 横浜クラブの読み聞かせ（児童養護施設入所児童を招待し、本の読み聞かせと東芝科学館見学）（100,000円）
- ⑤ 京都クラブの子育て支援・京都プロジェクト（保健センター等への遊具等の寄贈）（100,000円）
- ⑥ 和歌山クラブの外国人留学生への自転車5台の寄贈（100,000円）
- ⑦ 千代田クラブの養護施設出身者の自立支援事業（月額30,000円の支援）（300,000円）
- ⑧ 宮崎クラブのみやざき「子どもの貧困」対策支援フォーラム2016（300,000円）

○一般公募に係る次の3事業に対し総計700,000円を助成した。その財源はKIFが日本に保有する口座からKIF理事会の承認を得て支出された助成金及び国際キワニス日本地区からの助成金である。

- ① 埼玉クラブ推薦 NPO 法人親子ふれあい教育研究所の絵本ライブとこころの相談室（300,000円）
- ② 西宮クラブ推薦 NPO 法人チャイルド・ケモ・ハウス「デザインの授業」（200,000円）
- ③ 長崎クラブ推薦長崎親善人形の会のキッズゲルニカ大会 in ながさき（絵画制作・展示費用）（200,000円）

(2) 文化・芸術の表彰事業（公②事業）

キワニス日本文化賞を国際キワニス日本地区と連名で小鹿野歌舞伎保存会（小鹿野子供歌舞伎）及び小針領家獅子舞保存会に授与した。その経費は副賞賞金も含め財源は日本地区からの助成金である。

(3) 災害援助（公③事業）

- ①平成27年3月13日南太平洋バヌアツを襲ったサイクロン災害に対し被害援助募金を行い、1,260,000円が集まり、援助要請があったニュージーランド地区クラブへ送金した。

- ② 平成 27 年 4 月 25 日ネパールで発生した地震災害に対し被害援助募金を行い、2,057,500 円が集まり、援助要請のあった現地 Lumbini キワニスクラブへ送金した。
- ③ 平成 27 年 9 月に発生した東日本豪雨被害に対して被害援助募金を開始した。

(4) 英雄的自己犠牲行為の表彰 (公④事業)

中村のり子氏(埼玉県本庄市 平成 24 年 11 月 24 日埼玉県本庄市の JR 高崎線の踏切で遮断機をかいくぐり踏切内にいた男性を助けようとして列車にはねられ、両者とも死亡。)を表彰した。財源は日本地区からの助成金である。同氏の行為に対しては、日本地区からの推薦に基づき国際キワニス財団からロバート・コネリー賞が授与された。

(5) 海外に於ける公益的事業助成(公⑤事業)

海外に於ける公益的事業に対する助成としては次の 3 件総計 900,000 円の助成を行った。財源は日本地区からの助成金である。

- ① 東京クラブ推薦ジンバブエ友の会のジンバブエの初等教育支援事業 (教材の供与) (300,000 円)
- ② 千代田キワニスクラブ推薦ジャカルタ聖心会が行うストリートチルドレンの教育と自立支援事業 (300,000 円)
- ③ 特定非営利活動法人 JEN が行うアフガニスタンの病院への医療機器の提供及び医師の研修支援事業 (300,000 円)

(6) 世界の子供たちに奉仕する事業への助成 (公⑥事業)

①アニュアル・クラブ・ギフト・キャンペーン

KIF の呼びかけに応じ、各クラブにアニュアル・ギヴィング・プログラム (KIF の公益的事業への資金助成事業の財源を作るための世界的な募金活動) への参加を呼びかけ総額 2,102,000 円) の募金ができ、KIF の日本口座に振り込んだ。この口座の資金は KIF との協定により KIF 理事会の承認を得て日本国内の子どものための奉仕活動に使うことが出来るものである。本年度は上記(1)国内公益的事業等への助成事業の財源として活用している。

②エリミネイト・キャンペーン

国際キワニスが世界的に展開している妊産婦新生児破傷風撲滅のための募金活動は、5 年目の最終年度となるが、この間 K J F がその募金を行っている日本地区の寄付及びプレッジ総額は累積で 1,207,332.15 米ドルとなった。このうちキャッシュベースの送金実績は累積 961,092.49 米ドルで、差額はプレッジの実行として平成 28 年度以降現金の払込が必要なものである。本年度の日本地区のキャッシュベース募金実績は 26,315,605 円 (218,365.16 米ドル) であった。全世界では 2015 年 9 月 16 日現在で 100,191 千米ドル (目標 110,000 千ドル) であった。世界的な募金は 2015 年末まで行われる。この資金は最終的には UNICEF へ寄贈され、妊産婦新生児破傷風撲滅活動の資金となるものである。

2. 組織関係

(1) 定款の改正

行なわれなかった。

(2) 評議員の異動

平成 26 年 11 月 25 日開催の定時評議員会において、辞任の申し出のあった有岡隆評議員の補欠として、津村潤治が選任された。

(3) 理事及び監事の異動

(i) 理事の選任

前任理事の任期満了に伴い、上記の定時評議員会において以下のものが理事に選任された。

横山太蔵

塚越孝三

末安堅二

中村満

三野容志郎

橋田紘一

小池和子

早川典宏

(ii) 監事の選任

伊藤哲監事から辞任の申し出があり、上記定時評議員会において岡野英生が監事に選任された。その任期は補欠選任場合ではなく、選任後 4 年間とされた。

(4) 理事長等の選任

上記評議員会後の平成 26 年 11 月 25 日開催の第 2 回理事会において、下記の選任が行われた。

理事長 小池和子

業務執行理事 横山太蔵、塚越孝三

(5) 会議の開催

主たる会議の開催状況は次の通りである。

① 評議員会

定時評議員会 平成 26 年 11 月 25 日 (火)

② 理事会

第1回 平成26年11月4日(火)

第2回 平成26年11月25日(火)

第3回 平成27年5月18日(月)

第4回 平成27年9月4日(金)

③ その他

事業選定委員会 平成27年3月20日(金)

(6) 管理費

本年度も財団の管理費に充当するための寄付を募り、2,220,000円の寄付があり、この範囲内で財団の管理費を賄った。

II 業務の適正を確保するための体制の整備についての決定又は決議の内容の概要

該当するものはない。

附属明細書（事業報告書）

平成 26 年 10 月 1 日から平成 27 年 9 月 30 日まで

公益財団法人キワニス日本財団

1. 評議員、理事、幹事の兼職状況

評議員

評議員	木村太郎（東京）	
評議員	深山 靖（名古屋）	（株）ジェイアール東海ホテルズ 元代表取締役会長
評議員	前田泰道（和歌山）	紀三井寺護国院副住職
評議員	津村潤治（高松）	三彩商事株式会社代表取締役社長
評議員	西川公一朗（神戸）	税理士法人 西川オフィス神戸 代表社員
評議員	吉田民憲（福島）	元北芝電機（株） 相談役
評議員	由井美恵子（横浜）	株式会社ユー・アイ・シー代表取締役
評議員	長門博之（福岡）	長門博之法律事務所 弁護士

理事

理事長	小池和子（西宮）	栄和興産代表取締役会長
理事	横山太藏（東京）	
理事	塚越孝三（東京）	
理事	末安堅二（名古屋）	株式会社中京銀行元頭取
理事	中村満（横浜）	横浜ビル建材株式会社取締役会長
理事	三野容志郎（高松）	四国通商株式会社代表取締役社長
理事	橋田紘一（福岡）	株式会社九電工相談役
理事	早川典宏（熊本）	（資）ハヤカワスポーツ代表取締役会長

監事

監事	酒井富雄（東京）	多聞監査法人代表
監事	岡野英生（名古屋）	有限責任あずさ監査法人 副事務所長 公認会計士